

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
下山 寿子			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい (概要)	<p>下山寿子 (単独)</p> <p>道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法</p> <p>(1) 講義及び課題についてのグループ協議・事例研究・演習・発表等により授業を進める。</p> <p>(2) 教育相談・カウンセリングの基礎的な理論を理解し、その方法を習得することを目的とする。</p> <p>[テーマ] 「教師が身に付ける心理学的援助の方法とは何か」</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・教育相談の意義／授業目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法 予習 (時間) : シラバスを読む。(30) 復習 (時間) : シラバスを読み、授業目標、進め方、成績評価の方法等を確認する。(30)</p> <p>第2回 教育相談の基礎理論 (1) / 教育相談の基本的考え方・三つの機能・生徒のシグナルの把握 予習 (時間) : 教科書序章及び配付資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第3回 教育相談の基礎理論 (2) / 組織作りと年間計画と組織的取り組み 予習 (時間) : 教科書第1～2章及び配付資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第4回 カウンセリングの基礎理論 (1) / 来談者中心主義 (受容・傾聴・共感的理解) ・エンカウンター 予習 (時間) : 教科書第3章及び配布資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第5回 カウンセリングの基礎理論 (2) / 精神分析法・行動療法・SST 予習 (時間) : 教科書第3～6章及び配布資料等を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。小テスト①の見直しをする。(120)</p> <p>第6回 生徒理解のための基礎知識 (1) / 不登校 予習 (時間) : 教科書第7章及び配布資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第7回 生徒理解のための基礎知識 (2) / いじめ 予習 (時間) : 教科書第8章及び配布資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第8回 生徒理解のための基礎知識 (3) / 少年非行・虐待 予習 (時間) : 教科書第10～11章及び配布資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第9回 性問題の基本的考え方 予習 (時間) : 配布資料等を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第10回 教師のための教育相談の実際と連携 (1) / 【事例】問題行動の理解 予習 (時間) : 配布資料等を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第11回 教師のための教育相談の実際と連携 (2) / 【事例】カウンセリングマインドの理解 予習 (時間) : 配布資料等を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第12回 教師のための教育相談の実際と連携 (3) / 【事例】困った親の理解 予習 (時間) : 配布資料等を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第13回 教師のための教育相談の実際と連携 (4) / 家庭・地域との連携 予習 (時間) : 教科書第12章及び配布資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第14回 教師のための教育相談の実際と連携 (5) / 専門機関との連携 予習 (時間) : 教科書終章及び配布資料を読む。(120) 復習 (時間) : 授業ノートや配付資料を中心に授業内容を復習する。(120)</p> <p>第15回 全体のまとめ/教育相談の今日的な課題と動向について 予習 (時間) : 総復習 (60) 復習 (時間) : レポート作成 (210)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>商学部</p> <p>1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力</p> <p>3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力</p>
到達目標	<p>(1) 教育相談の基礎理論を理解し概要及び要点を説明できる。</p> <p>(2) カウンセリングの基礎理論を理解し概要及び要点を説明できる。</p> <p>(3) 生徒理解のための基礎知識を理解し概要及び要点を説明できる。</p> <p>(4) 教師のための教育相談の技術を理解し概要及び要点を説明できる。</p> <p>(5) 教育相談のあり方について自分なりの考えを持つことができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバック	<p>提出課題等については、添削等行い指導・助言し必要に応じて返却する。</p>

の方法	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・教職を目指す学生としての自覚をもち、積極的な授業参加が求められる。 ・基本的には講義形式を中心とするが、テーマにおいてはグループ活動やマイクロティーチングなどを導入する場合もある。 ・プリント教材を多く用いるので当該科目独自のファイルを作成すること。 ・新聞や雑誌、TV等での教育関係記事や番組に留意すること。 ・シラバスや配付資料を読み、予習・復習を行うこと。
成績評価の方法・基準	到達目標に掲げた項目を身に付けたかどうかについて、試験やレポートを通じて確認する。また最後のまとめにかかわる試験あるいはレポートによって総合評価を行う。最終レポート(定期試験として)80%、小テスト・授業内レポート5%、宿題・授業外レポート15%。
教科書	書名：教育相談 著者名：羽田紘一 出版社：一藝社 価格：2376円
参考書・教材	<p>【参考書】 書名：高等学校学習指導要領（平成30年3月） 著者名：文部科学省 書名：生徒指導提要 著者名：文部科学省</p> <p>【教材】 各年度の「検証・教育実習」と「省察集」を常に携帯すること。</p>
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	オフィスアワー